

**歯学部・歯学研究院**

I	研究水準	.....	研究 7-2
II	質の向上度	.....	研究 7-3

## I 研究水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

### 1. 研究活動の状況

#### 期待される水準を上回る

[判断理由]

「研究活動の実施状況」のうち、研究の実施状況については、研究論文の数に減少傾向がみられる。しかし、歯学研究院において活発な研究活動が行なわれていること、また論文等を通して研究業績の学内外への発信が行われていることから、歯学研究院における研究が学内外に広く認められている。研究は、「口腔組織の再生、再建医療研究」及び「口腔健康科学」を重点研究プロジェクトの柱におき、講座横断的かつ起動的な研究システムを構築してきた。また、若手研究者自立的な研究環境整備促進事業次世代研究スーパースター養成プログラムを通じた学際的な研究を進展させ、九州大学 COE（リサーチコア）にて、研究活動、研究費申請、人材流動化、講演会等の対外活動の支援を行い、全学的に連携して国際的歯学教育研究も推進している。研究資金の獲得状況については、科学研究費補助金やその他の研究費が維持されていることは、優れた成果である。

以上の点について、歯学部・歯学研究院の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、研究活動の状況は、歯学部・歯学研究院が想定している関係者の「期待される水準を上回る」と判断される。

### 2. 研究成果の状況

#### 期待される水準を上回る

[判断理由]

「研究成果の状況」について、学術面では、重点研究プロジェクト「口腔組織の再生・再建医療研究」におけるインパクトファクター（IF）10以上の原著論文数、総説は4件、IF5以上では19件に上り「口腔健康科学」におけるIF10以上の原著論文数は3件、IF5以上では16件に上る。また、両研究プロジェクトの促進してきた講座横断的な研究成果も多く認められ、独創性の高い活発な研究活動が行われていることは、優れた成果である。

以上の点について、歯学部・歯学研究院の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、研究成果の状況は、歯学部・歯学研究院が想定している関係者の「期待される水準を上回る」と判断される。

## II 質の向上度

### 1. 質の向上度

大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している

当該組織から示された事例は3件であり、そのすべてが、「大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している」と判断された。

